

鹿児島市立美術館
市美だより 2020.初夏号

日本古来の神仏像修復に命を懸けた
 新納忠之介 (1868~1942)

いちき串木野市には、不老不死の妙薬があるという蓬莱山を探して上陸した徐福の伝説が伝えられています。中国東部にある蓬莱山に対し、西部の理想郷が崑崙山でした。そこを治める存在が西王母と呼ばれる女神です。

西王母は最近でも、あるゲームのキャラクターになっていて、この作品に見られる仙桃や青い鳥の羽といった持物も引き継がれているようです。仙桃とは『西遊記』で孫悟空も食べた不老不死の果物で、桃といえは霊力のシンボルとして、昔話の桃太郎も連想されます。一方、青い鳥の方は、西王母に捧げる生贄を運ぶ下部で、この女神もかつては魔物であったことを示しています。

この新収蔵品は、当館では2点目となる西王母像で、いずれも新照院町出身の彫刻家・新納忠之介の作品です。いつの世も、長寿を願うテーマの作品は人々に好まれました。



《西王母》1942年制作・高さ77cm

小企画展

「令和元年度 新収蔵品展」~7月12日(日)

シニャック、ルオー、シャガール、新納忠之介、藤田嗣治、曾宮一念、海老原喜之助、田中一村など、令和元年度中に収集した、寄託を含む作品を一堂に展示します。さまざまな作家たちの多様な技法による作品の数々を鑑賞しよう。



初夏の収蔵品展
 6月2日(火) ~ 8月10日(月)

●展示中の主な作品●

西洋：油彩画	西洋：彫刻
<p>カミュ・ピサロ 《ポントワーズのレザールの丘》1882年</p>	<p>エミール・アントワヌ・ブールデル 《サッフォー》1925年</p>

鹿児島市立美術館
 ホームページに『おうちミュージアム』が登場しました！



美術館の作品を、おうちで楽しめる遊びや読み物にして紹介しています。ぜひのぞいてみてください。

★バーチャルツアー
 ★アートと遊ぼう！

- ・ぬり絵
- ・かくされた絵をみつけよう！
- ・タイトルにあう作品をみつけよう！
- ・マチスの『ジャズ』に挑戦！

★おうちで作品鑑賞♪

- ・名画をたのしむ~子どもと絵を見よう~
- ・物語をたのしむ~スクロール劇場~
- ・市立美術館だより『グリーンルーフ』の表紙の作品解説



特集

かちょうが
花鳥画の世界

花鳥画とは、植物や動物をモチーフとした、伝統的な東洋画のこと。中島信徴の屏風絵「松に鶴図」を中心に、木村探元、橋口五葉、満田天民など、郷土作家による花鳥画を紹介しています。

この《松に鶴図》は、美術館に入った時から傷みがひどく、これまで展示できなかったものを修復して、今回初めて展示します。

この絵は、長寿を表す松と鶴、花の王として高い地位を表す牡丹を組み合わせたおめでたい絵(吉祥図)です。明治時代、外国からどんどん新しい文化が入ってくるなか、島津久光に仕えていた中島信徴は、日本の伝統的な絵を守ろうとしてこのような絵を描いたとされます。



中島信徴《松に鶴図》明治中期頃制作